



# 差別裁判糾弾・石川氏奪還へ

## 9・16、19公判闘争へ

「差別裁判糾弾委員会」は、狭山裁判所が、石川氏を「差別裁判」で有罪としたことに対し、公判闘争を繰り出す。9月16日、19日の二回、公判闘争を行う。この闘争は、石川氏の奪還と、差別裁判の糾弾を目的とする。委員会は、石川氏の無罪を主張し、公判闘争を通じて、差別裁判の是非を明らかにしようとしている。

### 石川氏は無実である！

石川氏は、差別裁判で有罪とされたが、実際には無実である。委員会は、石川氏の無罪を主張し、公判闘争を通じて、差別裁判の是非を明らかにしようとしている。石川氏は、差別裁判で有罪とされたが、実際には無実である。委員会は、石川氏の無罪を主張し、公判闘争を通じて、差別裁判の是非を明らかにしようとしている。

### 部落解放同盟の闘いに連帯した労働者の闘いを一層強化せよ

部落解放同盟の闘いに連帯した労働者の闘いを一層強化せよ。差別裁判の糾弾と、労働者の闘いを結びつけることが重要である。労働者は、差別裁判の是非を明らかにするために、部落解放同盟と連帯して闘うべきである。

### 十一月パレスチナ国際週間

十一月パレスチナ国際週間。パレスチナ問題の国際的関心を高めるための活動が行われる。この期間は、パレスチナの人々の苦難を支援し、国際社会にパレスチナ問題の重要性を訴える機会である。

石川氏からの手紙。石川氏は、差別裁判について、手紙を通じて意見を述べた。石川氏は、差別裁判の是非を明らかにし、公判闘争を通じて、差別裁判の糾弾を訴えている。

### 支援の皆様へ

支援の皆様へ。差別裁判の糾弾と、労働者の闘いを支援する皆様へ、感謝の意を表します。皆様からの支援は、差別裁判の是非を明らかにし、労働者の権利を守るために不可欠です。

### 新全総、軍事基地と農民・漁民の闘い

新全総、軍事基地と農民・漁民の闘い。新全総の軍事基地の建設は、農民と漁民の生活を脅かしている。農民と漁民は、新全総の軍事基地の建設に反対し、闘いを繰り出している。

### Ⅱ 四次防軍勢力(自衛隊)の増強と反軍反基地闘争の激化

Ⅱ 四次防軍勢力(自衛隊)の増強と反軍反基地闘争の激化。自衛隊の増強は、反軍反基地闘争を激化させている。農民と漁民は、自衛隊の増強に反対し、闘いを繰り出している。

差別裁判の是非を明らかにし、労働者の闘いを結びつけることが重要である。労働者は、差別裁判の是非を明らかにするために、部落解放同盟と連帯して闘うべきである。

パレスチナ問題の国際的関心を高めるための活動が行われる。この期間は、パレスチナの人々の苦難を支援し、国際社会にパレスチナ問題の重要性を訴える機会である。

新全総の軍事基地の建設は、農民と漁民の生活を脅かしている。農民と漁民は、新全総の軍事基地の建設に反対し、闘いを繰り出している。

差別裁判の是非を明らかにし、労働者の闘いを結びつけることが重要である。労働者は、差別裁判の是非を明らかにするために、部落解放同盟と連帯して闘うべきである。